



さとうきびの振興については、久米島さとうきび振興協議会等と連携し、土づくりや日常の肥培管理の重要性について農家へ周知を図るとともに、機械化やスマート農業を推進してまい



ります。

甘しょや野菜については、新たな優良種苗の確保に努めるとともに、病害虫等の防除対策に取り組み、生産性および品質の向上を図ってまいります。

花卉振興については、各団体と連携し生産拡大に向け取り組んでまいります。高付加価値が期待されるコーヒーやバナナについては、安定生産が課題となっておりますので、農家や関係機関と連携を図り、取り組んでまいります。

畜産振興については、セリ価格の持ち直しの兆しが見られております。しかし、上場頭数が減少傾向にあることから、引き続き優良繁殖雌牛の導入による子牛生産の拡大を図るとともに、トップセールスによる久米島産子牛のPRに取り組んでまいります。

水産業の振興については、「浜の活力再生プラン」に基づき、久米島漁業協同組合および水産業関連団体と連携して、漁場環境の整備・保全に努めてまいります。また、共済加入の促進を図り、漁業経営の安定化に向けて取り組んでまい

ます。

8 商工・観光産業の活性化

商工業の振興については、引き続き久米島商工会への支援と連携により、物価高騰などにより経営に影響を受けている町内事業者の経営継続や回復に向けた取り組みの促進を図るとともに、地域経済の持続的な発展を目指します。

また、事業承継に関する情報を収集し、現状と課題解決に向け関係機関や民間企業、行政が連携し総合的な支援体制を構築します。

特産品開発や販路拡大につきましましては、引き続きブランドディングサポートや離島フェアをはじめとする各種物産展の出品を支援し、特産品を展示・販売できる機会を増やし、販路拡大につながるよう取り組みを促進してまいります。

伝統工芸品である久米島紬の振興については、販路拡大・販売促進の支援を行うとともに、新商品の開発をすることで販売の間口を広げ、久米島紬の認知度向上に努めます。また、久米島紬の生産が今後とも持続的に継承されるよう久米島

紬事業協同組合と連携し、後継者育成事業などの教育プログラムを強化し、久米島紬の魅力を広めながら、次世代に受け継がれる施策を展開してまいります。

観光振興につきましましては、第3次久米島町観光振興基本計画の基本理念にある「持続可能な島の未来をつくる共創ツーリズム」に向けた施策に取り組むことで更なる誘客を図ってまいります。

特に久米島の認知度を上げるため、ターゲットの多層化とアプローチをより効果的に行うため、来訪状況の把握を踏まえた観光プロモーション事業や観光コンテンツの整備、教育旅行、MICEなど誘客事業を観光協会やDMOと連携して取り組んでまいります。

既存運航している久米商船のフェリーとともに本年5月には民間企業による高速船の就航が予定されており、久米島の玄関口として利用者増の見込まれる兼城港ターミナルは、ターミナル裏のバス・タクシー乗場、駐車場整備は県と連携し進

ナル待合室内の観光案内所の設置などの利便性向上を進めてまいります。

スポーツコンベンションにおいては、マラソン大会やパークゴルフ大会等のスポーツイベントの開催や合宿、キャンプを通じて、多くの参加者や観光客を久米島に呼び込み、また、スポーツを絡め年間を通した来訪者の底上げ、平準化を図り、地域経済の活性化につなげてまいります。

増加傾向にあるインバウンド受け入れ対策として、令和7年度より配置している国際交流員と連携し、観光地や観光施設等の英訳表記、各種イベントにおける通訳、外国人観光客調査な

